



# ガーナにおける 女性の声と リーダーシップ

女性はガーナの女性  
にとって何が最善か  
知っている



Sakina(21歳)と彼女の弟子は、石鱈を棒状にカットしている。

202203GHA

## 目次

最初の言葉 .....	4
舞台 .....	6
詳細 .....	8
スポットライト .....	10
最後の言葉 .....	12

皆様のご厚意により、これまでに  
**72の女性人権団体**

に  
**83の助成金**

が贈られた:

ジェンダー・トランスフォー  
マティブ・プログラム  
助成金  
**21件**

COVID-19 対応  
助成金  
**14件**

組織開発助成金  
**2件**

用途自由のプロ  
ジェクト助成金  
**46件**



# 女性の影響力

ガーナにおける「女性の声とリーダーシップ」プロジェクトが、女性の権利団体とどのように協力し、その能力を拡大しているのか、この場を借りて紹介したい。

皆様のおかげで、より多くの女性が司法へのアクセスが可能になり、ガーナのクイーン・マザー（Queen Mother: 村の名誉女性リーダー）たちは態度を変容させ、私たちの地元パートナーは女性が発言するための全国的なプラットフォームを構築している。これらは、「女性の声とリーダーシップ」プログラムへのご支援が、ガーナにどんな変化をもたらしているかを示す物語のほんの一部である。

地元の団体はすでに女性の権利のために素晴らしい活動をしているが、目標達成のためにはより多くの資源と研修が必要である。私たちは専門知識と資金を提供し、彼らの使命である有意義な変化を起こせるよう、彼らを支援している。

この5年間のプロジェクトの最初の3年間、私たちは地元の女性の権利団体のために、次の4つの重要な目標に焦点を当てた。

- 運営改善・技術能力向上・組織の持続可能性強化のため、現地のリーダーシップを構築すること。
- 職員の指導、育成、研修を通じて、サービスやプログラムの提供を強化すること。
- 会員基盤を拡大し、全国ネットワークで結ばれた300超の女性の権利団体間の連携を強化すること。
- 全てのプロジェクトがアフリカン・フェミニストの原則に根ざし、若いフェミニストが提唱スキルを更に向上できる安全な空間を創造すること。



人生を変え、大志を達成する女性の力を信じてくれて感謝する。



地元の市場で販売する布を織る21歳のHafsaf(左)



# 舞台

ガーナ共和国は西アフリカを代表する国家である。赤道のすぐ北に位置し、ギニア湾に沿って美しいビーチが広がり、草原や豊かな森林に出会うことができる。

1957年、アフリカで最初にイギリスから独立した。人口3,200万人のガーナには、活気に満ちた多様な文化と豊かな歴史があるが、不平等への取り組みはそれほど進んでいない。2007年、政府は家庭内暴力法を成立させ、女性がパートナーからの身体的、性的、経済的、心理的暴

力に対抗する法的手段を与えた。だが、ガーナ女性の権利が認められ、支持されるためには、まだ多くの課題が残されている。



## アフリカン・ フェミニスト原則 憲章の使命とは

家父長制下の抑圧を終焉させること

2006年11月、100人の活動家がアフリカン・フェミニスト・フォーラムのためにガーナのアクラに集った。彼らの使命は、アフリカのフェミニストのためのフェミニスト原則憲章の策定だった。「私たちのアイデンティティは、もしとか、でもとかいう言葉で修飾されません。私たちはフェミニストです、以上です」と。原則は、彼らがコミュニティで見たいと思う変化を図式化し、それを実現するための責任者を概説している。

このツールキットは、女性団体にサービスの指針として提供される。「私たちの焦点は、個々の男性や女性と闘うのではなく、制度としての家父長制と闘うことです」と憲章は続く。

「従って、フェミニストとして、私たちの仕事は、あらゆる形態の家父長制的抑圧と搾取に反対する闘いに、個人と組織のエネルギーを投入することです」。

- ガーナのジェンダー開発指数は、サハラ以南のアフリカ35カ国中23位である。
- ガーナ人女性の3人に1人が、少なくとも1回は家庭内暴力を経験している。
- 女性と女の子は、疫病の流行などの危機的状況において、最大3.7倍の家庭内暴力を経験する可能性がある。2020年3月から5月までの間に、ガーナの家庭内暴力・被害者支援ユニットには4,000件を超える家庭内暴力の事例が記録され、報告された。
- ガーナの女性の38%超が、少なくとも1回は性暴力を経験したと報告している。

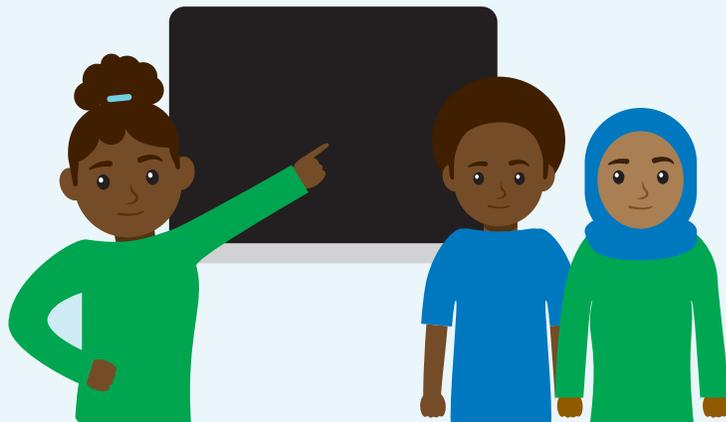
# 詳細

2019  
—  
2022

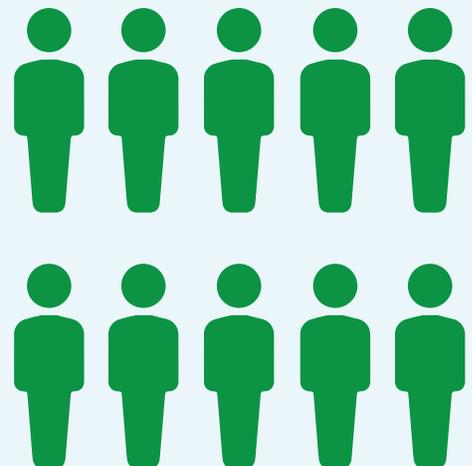
ガーナの女性の権利に連鎖的な効果をもたらすため、女性の権利団体の強化への支援を行った。

ガーナにおける女性の声とリーダーシップ」プロジェクトの最初の3年間で、これまでに成し遂げてきた顕著な成果をいくつか紹介しよう。

(これまでに) **25人の女性の権利団体の職員**が、彼らのサービスを向上させるための6つの能力開発分野のひとつである、コミュニケーションとメディア関与に関する研修を受けた。



地方、地域、国、世界レベルで女性の声の強化に取り組むプロジェクトの主要パートナーのひとつである「ガーナにおける女性の権利のためのネットワーク」の**会員数が30%増加**した。



**72の女性の権利団体とネットワーク**

が、組織の能力を高め、サービスを改善し、より多くの女性の権利パートナーと協力するために不可欠な資金を受け取った。

## 21の女性の権利団体

が、女性と子どもを支援するために提供するプログラムの質を向上させた。



### 9,665人

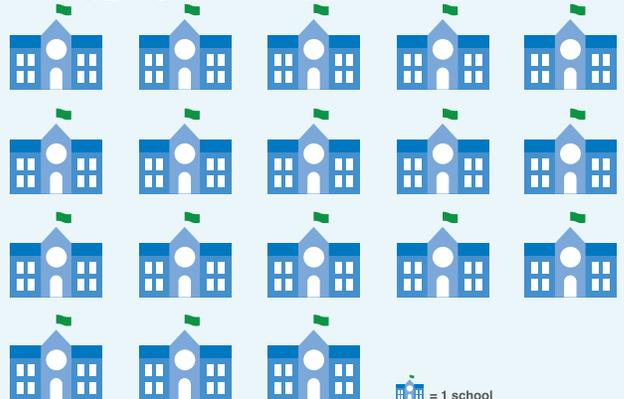
が女性の権利団体のプログラムに参加した。



### 18の学校が、4つのプロジェクト・

### パートナー

およびガーナ教育局と協力して、女性と女の子の権利、性と生殖に関する健康と権利、ジェンダーに基づく暴力(GBV)の防止について生徒に教えている。



# 女性を支援する グループの強化

女性の司法へのアクセスの支援活動を拡大



畑の中を歩く3人のガーナ人女性、ガーナ

Betty Ayagibaは看護師として働いていたとき、医療費を払えない人びとの多くが、未亡人となった女性や両親を亡くした子どもであることに気づいた。彼女もまた夫を亡くした経験があり、他の当事者にも精神的・経済的支援を提供したいと考えた。1993年、彼女はガーナのアップパー・イースト地方のボルガタンガに「未亡人と孤児運動(WOM)」を設立した。

「私たちは、女性が自身の人権を主張し、子どもに教えることができるよう人権を教えます」とAyagibaは説明する。未亡人の小さな集まりから始まったこの組織は、瞬く間に全国規模のNGOとなった。支援も加わり、同団体は提唱活動を拡大し、その使命を拡大し続けている。ガーナの多くのコミュニティでは(カナダを含む世界の他の多くの地域と同様に)、家

父長的規範のために性的暴行や家庭内暴力が報告されないことが多い。WOMはこれを変えるために活動している。

**マイクロクレジット・プログラム、教育機会、人権擁護活動を導入することで、WOMは8,000人超の未亡人と両親を亡くした子どもの生活を向上させてきた。**

WOMはガーナの家庭内暴力・被害者支援ユニットと協力し、すべての暴力、特に女性に対する暴力は犯罪であるという事実について、コミュニティの認識を高めている。

「(性的暴行や)強制結婚、身体的暴行は第二級重罪であり、家庭やコミュニティレベルで解決されるべきでないことを、私たちはコミュニティリー

ダーに教えています」と、WOMと協働する「女性の声とリーダーシップ」プロジェクトの役員、Beatrice Azekaroaは言う。

「女性の声とリーダーシップ」の支援を受けて、WOMはガーナで女性に対する司法をより公平なものにしている。「私たちは、GBVのサバイバーが救済を受けられる環境づくりに取り組んでいます」とBayimahimeは語る。

# 宮殿の 存在

クイーン・マザー(Queen Mother: 村の名誉女性  
リーダー)はコミュニティへの影響力を強める。



「ガーナにおける女性の声とリーダーシップ」のフェミニスト基本理念には、「ガーナの女性にとって何が最善であるかは、ガーナの女性が知っている」というものがある。そのため、プラン・インターナショナルと私たちのパートナーは、ガーナのクイーン・マザーと連携して活動している。

## → ガーナ各地にいる1万人超の クイーン・マザーたち

ガーナの国は、その地域の最初の入植者である宗教的、世俗的権威を兼ね備えた王族ないし首長が存在する。クイーン・マザーは現在も各地域に残る町や村の有力者の家から選ばれる。このような重要な女性リーダーは、首長とともにコミュニティの世話役となっている。

植民地時代にはその影響力は弱まったが、独立後、クイーン・マザーの地位は近代化され、自身や他の女性をエンパ

ワーメントする存在として位置づけられている。「クイーン・マザーが不在の時代、王宮での女性の発言は全くなかった」と、アホマクロンブアのあるクイーン・マザーは言う。女性は後景に追いやられた。「では、どうやって性の利益が代表され、女性の発展が擁護されるのでしょうか。誰が、どこで、それをするのでしょうか？」

プラン・インターナショナルとそのパートナーは、地域の男性首長や長老を対象に、コミュニティの意思決定のあらゆるレベルにおける女性の代表権の重要性について学ぶ教育プログラムを支援した。

その結果、首長たちはこの地域のすべての氏族に、伝統的な評議会にクイーン・マザーを参加させることを義務づけた。

# Thank you!

皆様の寛大さに心から  
感謝している。

皆様の紫煙のおかげで、女性は  
互いに支え合い、自らの権利を  
主張することができる。皆様の支  
援によって支えられているガーナ  
の何千人もの女性を代表して、  
感謝申し上げたい。

ガーナの首都アクラの街並み  
(出典: Unsplash)



**Plan International Canada Inc.**

245 Eglinton Avenue East, Suite 300  
Toronto, ON M4P 0B3  
Canada

詳細は[plancanada.ca](http://plancanada.ca)まで。



CRA Charity Registration Number 11892 8993 RR0001

© 2022 Plan International Canada Inc. The Plan International Canada, Because I am a Girl names, associated trademarks and logos are trademarks of Plan International Canada Inc.

\*The Standards Program Trustmark is a mark of Imagine Canada used under licence by Plan International Canada.